

キーワード	Y4	ソフト・システム	Z4	電力	S5	再生可能 E
					L	学術研究、専門・技術サービス業

日本工営株式会社

地熱開発コンサルティングサービス

特徴

- ◆ 再生可能エネルギー利用の潮流
多くの開発途上国では、地域による電化率の格差や電力需要の逼迫などのエネルギー問題を抱えています。このことが貧困の軽減や経済成長を阻害する要因の一つにもなっていることから、安価でクリーンなエネルギーの開発と国民への安定した供給が求められています。地熱エネルギーは、供給安定性に優れ、地球温暖化物質をほとんど排出しない純国産の再生可能エネルギーとして、エネルギーセキュリティ、地球温暖化の観点から大きく注目を浴びています。
- ◆ 豊富な電力コンサルティング実績
50年以上の長きにわたり、世界各国の課題に応じた最適なエネルギー開発計画を立案するとともに、発電所や送変電システムなどのエネルギー供給に必要な施設・設備等の整備に関わるコンサルティングサービスを提供しています。
- ◆ 総合コンサルタントの優位性を活かした提案
電力、土木、農業、都市計画等の多岐にわたる専門分野を有する総合コンサルタントとして、電源開発のみならず、熱エネルギーとしての特性を直接利用した地域開発・地域振興の提案が可能です。
- ◆ 中南米・東アフリカの地熱開発への積極的取り組み
地熱資源の豊富な中南米（ボリビア・ペルー等）および東アフリカ（エチオピア・ジブチ等）での、政府による地熱開発のためのコンサルティングサービスに積極的に取り組んでいます。

概要 or 原理

- ◆ 地熱地表調査
地表に見られる噴気・温泉などの地熱現象を調査し、物理探査・地化学調査と合わせ、適正な地熱開発候補地の選定を実施します。
- ◆ 地熱貯留層評価・シミュレーション
地熱井戸データから3次元地熱流体流動・熱輸送モデル解析を実施して、開発可能な地熱資源量を評価し、地熱発電所建設計画の策定を支援します。
- ◆ 地熱発電所 調査・設計・施工・施工管理
世界各地の地熱発電所計画の調査から設計・施工及び施工監理まで、総合的なプロジェクトサイクルの全般にわたり、サービスを提供します。



調査井掘削現場（ルワンダ）



官民ミッション（ペルー）



地熱地表調査（ジブチ）



地化学探査（エチオピア）

省エネ効果 & 特記事項

- ◆ 地熱発電の利用により、化石燃料に使用料を低減し、二酸化炭素排出量を削減することが可能です。環境改善のみならず、CDM事業としての便益も期待できます。
- ◆ 系統が発達していない島嶼国や山岳国のリモート地域では、地域電源をディーゼル発電等で賄っている地域が多くあります。地熱発電への転換により、発電コストを低減させることができます。
- ◆ 純国産のエネルギーである地熱エネルギーへの転換により、化石燃料の輸入量を低減できる他、自国で生産している化石燃料を輸出へ回して外貨収入を得るなど、便益が期待できます。

導入実績または予定

最近の主な実績：

ジブチ国地熱開発に係る情報収集・確認調査(重力探査)	(2015年～現在)
〃	(物理探査)
ボリビア国ラグナ・コロラダ地熱発電所建設事業(第一段階第一期)	(2015年～現在)
エチオピア国地熱開発に係る情報収集・確認調査	(2015年11月～2016年8月)
セントビンセント及びグレナダ地熱開発に係る情報収集・確認調査	(2015年2月～2016年8月)
ジブチ国地熱開発のための情報収集・確認調査	(2014年3月～2014年9月)
エチオピア国全国地熱発電開発マスタープラン策定プロジェクト	(2013年9月～2015年3月)
ペルー国タクナ州地熱開発事業調査	(2013年9月～2014年2月)
ミャンマー国JCM実現可能性調査「バイナリー地熱発電」	(2013年7月～2014年3月)
ルワンダ国地熱開発情報収集確認調査	(2013年3月～2013年9月)
インドネシア国 東ヌサテンガラ州地熱発電事業化調査	(2012年9月～2013年2月)
エルサルバドル国 再生可能エネルギー国家マスタープラン策定プロジェクト	(2011年7月～2012年3月)
コロンビア国デルルイズ火山帯地熱源準備調査	(2011年6月～2012年12月)

コンタクト先 日本工営株式会社 コンサルタント海外事業本部
 〒102-8539 東京都千代田区九段北1-14-6
 電話番号：03-3238-8030 Fax番号：03-3238-8326
 HP：http://www.n-koei.co.jp/